

公開研究会・展示会「海図からみる震災と地域」

2014年2月28日（金） 13:30-17:00 東京大学福武ホール地下一階史料編纂所大会議室

第一部 13:30-15:00 ※敬称略

【趣旨説明】 杉本史子

【講演】 小野寺淳

「写される絵図—内務省引継地図・赤門書庫の蝦夷図に関する若干の考察—」

【東日本大震災現地レポート】

横山貴史「東日本大震災と漁村—宮城県牡鹿半島・東浜地区の例—」（ビデオ発表）

【現地調査報告】 横地留奈子・吉岡誠也「(仮) 幕末の佐渡—変動期の海図」

第二部 15:00-17:00 展示「海図からみる震災—牡鹿半島を中心として」

【全体解説】 佐藤賢一

【各図・画像解説】 今井健三（震災直後の被災地各港の海図、最新海図）

鈴木純子（赤門旧蔵書庫の海図から）

橋本直子（被災地の被災前・後の画像から）

※現地の現状写真・聞き取りなどもふまえて、陸図では表現されない震災の状況とその意味を、海図から検討する予定です。

科学研究費補助金基盤研究（C）「近代化模索期の「国史」編纂と地図作成」（課題番号：24520737）、東京大学史料編纂所画像史料解析センターPJ「赤門書庫旧蔵地図」PJ（両研究代表者・杉本史子）共催